

「（仮称）ひとりの力が活きる町」

〈 コンセプト 〉

一人ひとりを大切に思いやる町

一人ひとりが生き活きと働き、暮らす町

一人ひとりの支え合いが残る町

一人ひとりが受け入れられる開かれた町

町民が10年後に継承・実現したいと願う町の姿を、一つの理念に込めました。

人口減少・少子高齢化を背景として、地域の基盤である産業や地域コミュニティの形は急激な変化を迎えています。そこで、2020年を迎える今、改めて町の資源は「人の力」であることに光を当てた合言葉を掲げ、生活に関わる全ての分野において、人の力が活きる取り組みを進めていきます。

第1次総合戦略（2015～2019年）基本理念

「選ばれる町をつくる」



第2次総合戦略（2020～2024年）基本理念

「（仮称）森里海と生きる町」

〈 各コンセプトと関係性 〉

第1次総合戦略（2015～2019年）では、移住希望者と町民の移住・定住を促すために、「選ばれる町をつくる」ことを理念に掲げ、生活基盤である仕事と住まいに関する課題解決に着手してきました。

第2次総合戦略（2020～2024年）は、「選ばれる理由づくり」の段階へ。「森里海と生きる町」を理念に掲げ、町の基盤である〈森・里・海〉が揃った環境をまち・ひと・しごとづくりにおいて戦略的に盛り込んでいくことで、阿武町にしかない魅力を創出・発信していきます。